

そうべつ議会だより



ケミヤルヴィ市訪問団対面歓迎式

■ 第3回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 決算審査特別委員会	5
■ 薫風	14

No. 99

□ 2025年11月 □



壮瞥町議会
ホームページ



壮瞥町議会
YouTube



壮瞥町議会
facebook

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

定例会のあらまし

議案審議

そうべつ情報館の利便性向上のため機能を拡充

令和7年第3回定例会は、9月4日から11日までの8日間の会期で開催されました。教育委員の選任、令和6年度決算の認定など議案12件、報告2件、意見案1件を審議し、それぞれ可決されました。

また、1名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。

第3回 定例会

教育委員会委員の任命について

現任の教育委員である松永美穂氏について、引き続き任命することに同意しました。

質疑

4年間教育委員を務めるに当たっては、日常の行動力と、町内の教育行事に関心を持つことが必要だと考える。昨年、教育・子育て・生涯学習分野に関する町の分野別懇談会が開催されたが、教育委員の参加が少なく、また、フィナンランド派遣成果報告会や壮瞥町部活動のあり方に関する説明会に教育委員の参加はあつたであろうか。2年前から教育行政執行方針で社会体育推進のために部活動を

地域で取り組むと掲げており、共に学ぶ姿勢に欠けているのではないかと考えてならない。

同じ人が教育委員を長年続けることで、適正な執行に繋がる利点はあると思うが、人を育てるという観点から、よりよい壮瞥町の教育行政推進のために、今後、過去にとらわれない教育委員の選任が必要でないか。

答弁

教育委員は、市町村長が被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術、文化に関する識見を有する者のうちから、議会の同意を得て任命するものであり、選任にあつては、年齢、性別、職業に偏りがないよう配慮すべきと認識をしている。

公約として、施設の整備も含めた教育の振興と施策の推進を掲げているが、豊富な経験と高い識見

を有する教育委員の力が必要であり、現任の委員は、それぞれの生業、家庭の事情を抱えながら、教育行政の執行に当たり問題解決の意欲を有し、職責への深い自覚と使命感で活動されていると認識しており、ご指摘のあつた各種行事への参加がないことをもって、教育への情熱がないということにはならないと思っている。

本町の教育行政に必要な方の選任を提案していることをご理解いただきたく、いただいた意見については今後の参考にさせていただきます。

壮瞥町表彰条例に基づく表彰について

自治に関するものとして山田光大氏、関 孝博氏、石田 拓也氏、堂下 洋紀氏、今野 優也氏の5名が、社会事業に関するものとして佐長 泰教氏、次原 末夫氏の



第3回定例会の様子

2名が、教育・文化・体育に関するものとして小笠原 賢司氏が貢献表彰者として決定されました。

令和7年度壮瞥町一般会計補正予算（第4号）について

2億779万2千円追加

補正後の予算総額

49億3,747万8千円

総務費 一般管理費 テレビ受信料

82万円追加

令和7年 第3回

質疑

役場の公用車で、テレビ放送を受信可能なカーナビが設置されているものについては、NHKとの受信契約が必要となることだが、その内容について伺いたい。

答弁

全国的に、法人所有の自動車のカーナビについて、テレビ放送を受信できるものでテレビ受信料が支払われていない件についての調査依頼がNHKからあり、公用車8台について、取得した時点で遡って受信料を支払う必要があることが判明したものである。

質疑

自動車の場合、移動するので必

ずしも受信状態が完全でないことも多いはずだが、それでも支払い義務が発生するのか。

答弁

放送法64条で受信設備を設置した場合は支払い義務が発生する旨NHKから説明されている。今後はテレビ受信の必要ない公用車については受信できないようにする。

そつべつ情報館機能拡充工事

1,200万円追加

質疑

そつべつ情報館の機能拡充工事について、利用者の利便性向上を図るため、調理場スペースや来客者の動線等について再検討した結

質疑

事業費の2分の1は、国の補助金を充てるとの説明をうけていた

答弁

当初は、中央の入口と店舗35㎡の改修を予定していたが、全員協議会での意見や指定管理者や専門家の意見を伺った結果、店舗55㎡を改修することとした。また、人件費や資材費の高騰による影響分は、今回の補正額1,200万円のうち300万円程度となっている。

果、改修範囲を広げること、また、人件費や資材費高騰によって予算に不足が生じることだが、その詳細について伺いたい。

答弁

10月に国の補助金に係る計画変更を予定しており、補助対象の該当・非該当を精査していくことになる。工期については、当初の予定どおり進めたい。

意見書

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

1件の意見書を採択しました。



工事発注状況

令和7年5月から令和7年8月まで

() 内は予定価格

- 水道メーター器取替工事
6,490,000円(6,589,000円)
(有)堀口水道
- 仲洞爺地区農業集落排水施設機械設備更新工事
13,200,000円(13,684,000円)
栗林・堀口 経常建設共同企業体
- 国道453号上久保内農業用水道移設工事
96,250,000円(99,231,000円)
道栄・壮建 特定建設工事共同企業体
- 町道滝之町中島1号線道路改良舗装その2工事
2,530,000円(2,585,000円)
壮建興業(株)
- 壮瞥中学校空調設備高調波対策工事
2,794,000円(2,871,000円)
栗林・堀口 特定建設工事共同企業体
- 壮瞥中学校ビジネスホン更新工事
1,232,000円(1,298,000円)
東日本電信電話(株)
- 壮瞥町議場音響設備等更新工事
4,939,000円(5,291,000円)
(株)堀口電気商会
- 仲洞爺地区農業集落排水施設電気設備更新工事
99,000,000円(102,080,000円)
新栄・堀口 特定建設工事共同企業体
- 上立香地区農業用排水路浚渫工事
4,983,000円(5,192,000円)
壮建興業(株)
- 役場庁舎等照明器具LED化改修工事
46,750,000円(47,993,000円)
(株)堀口電気商会
- 町道火山観測所線ロードヒーティング自動制御器更新工事
3,432,000円(3,553,000円)
(株)堀口電気商会
- 町道弁景川右岸線増圧ポンプ修繕工
3,080,000円(3,234,000円)
新栄クリエイト(株)
- 情報通信環境整備工事
16,301,450円(16,500,000円)
(株)インターネットイニシアティブ
- 町道区画線補修工
1,650,000円(1,837,000円)
北海道ラインファルト(株)
- 定住促進住宅整備工事
21,395,000円(21,780,000円)
(株)中山工務店
- ほくと団地2号棟屋上防水改修・外壁塗装工事
26,510,000円(26,928,000円)
(株)中山工務店

【持続可能な水道インフラについて】

Q 本町の水道インフラはどのような更新方針が設定されているか

A 5カ年計画で位置づけ、計画的に施設の更新を行っていく



湯浅祥治

議員

本年1月28日埼玉県八潮市で、下水道の老朽化による道路陥没事故により、尊い一名の命が失われました。

このような事故は、日本全国いつ起きてもおかしくない状況です。既に全国の水道管の2割以上が法定耐用年数を超えており、2042年度時点で7割となる見通しとなります。

そこで次の点について質問いたします。

①「公共施設等総合管理計画」等の計画において、水道インフラはどのような更新方針が設定されているか。

②本町では、水道インフラについて、地域別に更新に必要と見込まれるコストを試算して

いるか。

③本町では、水道施設の維持・更新に際して、劣化診断技術、漏水探知システム、耐用年数延長技術などの新技術の活用についてどのように考えるか。導入にあたっては費用対効果を総合的に考慮する必要があると考えるがどうか。

町長

①、②公共施設等総合管理計画は、公共施設の全般を把握し、長期的な視点をもって、改修・更新等にかかる費用を抑制し、平準化を図るとともに公共施設等の最適な配置を目指すものであります。

水道施設については、管渠などの設備の修繕及び長寿命

化を検討し効率的な設備投資や維持管理に努めることとなっている。

具体的には、平成29年度から、浄水場や配水池、中継ポンプ場の設備更新として、電気機械計装備更新事業を国庫補助金を活用して実施している。現在は、第2期5カ年計画となっております。

令和9年度以降につきましても、5カ年計画で位置づけ、計画的に施設の更新を行っていく考えです。

今年度、中長期的視点で水道施設のライフサイクル全体にわたって、効率的かつ効果的に水道施設を管理運営していくための計画である、アセットマネジメントの作成を、委託業務で行っており、管路施設も含めた、水道施設全体の、中長期的な更新の方針や、将来の更新費用を算出していることになっている。

③水道施設の維持・更新につき

ましては、現在、本町においては、議員がおっしゃる劣化診断技術などの、新技術の導入には至っておりませんが、今後の維持管理や更新に際して、有効性や費用対効果を考慮し、新技術に関する知識の習得や、既に導入している他市町村の情報収集を行い、検討して参りたいと考えている。



壮瞥町立壮瞥中学校新校舎完成記念式典

令和6年度決算認定!!

令和7年第3回定例会で、決算審査特別委員会に付託された「令和6年度壮瞥町各会計歳入歳出決算認定について」は、決算審査特別委員会において、9月8日・9日の2日間で書類を審査し、11日に審議を行い、認定することを決定し、同日の本会議で可決しました。

令和6年度壮瞥町各会計決算状況

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	残額の措置
一 般 会 計	4,541,197,089円	4,455,383,833円	85,813,256円	翌年度へ繰越
国民健康保険特別会計	332,028,491円	326,417,512円	5,610,979円	翌年度へ繰越
後期高齢者医療特別会計	58,102,515円	56,480,187円	1,622,328円	翌年度へ繰越
介護保険特別会計	442,066,191円	376,659,253円	65,406,938円	翌年度へ繰越

簡易水道事業特別会計、集落排水事業特別会計は、それぞれ公営企業会計の簡易水道事業会計、集落排水事業会計へ令和6年度から移行した。

		収入決算額	支出決算額
簡易水道事業会計	収益的収支	215,927,867円	201,220,560円
	資本的収支	139,154,387円	201,140,776円
集落排水事業会計	収益的収支	211,836,132円	199,294,308円
	資本的収支	91,293,000円	139,251,644円

一般会計

歳入

町たばこ税

質問

地方自治体において、たばこ税が受け取れる上限額が決められていて、道へ交付する自治体もあるが、当町の現況はどのようなになっているか。

答弁

当該制度は、たばこ消費基礎人口1人当たり、市町村のたばこ税収入が全国平均の2倍の課税定額を超えた場合、その超えた部分を都道府県に交付する制度となっている。本町の6年度の限度額は4,562万円だが、たばこ税収入が約2,100万円なので、道への交付はない。

歳出

総務費

職員研修事業

質問

職員研修事業で取り組んだハラメント研修の対象と内容は。

答弁

6年度の対象は管理職で、ハラメント法に関する正しい知識、管理職に求められる対応、管理職の在り方、部下との接し方についての研修を実施した。



壮瞥中学校 新校舎内覧会

質問

管理職だけでなく一般職対象の研修も必要でないか。

答弁

5年度では、一般職と管理職を対象に実施した。6年度は管理職を対象に実施し、7年度は一般職を対象とした研修会を予定している。

自治会業務

質問

自治会について、全国的に未加入世帯が増えているとの新聞報道もあるが、壮瞥町の未加入世帯の現状と、未加入世帯に対する対応策を伺いたい。

答弁

自治会組織は32団体で、6年度においては、住民基本台帳登録の1,166世帯のうち、855世帯は加入しているが、311世帯が未加入。

自治会加入世帯に対する町からの広報誌配付や諸連絡は自治会に

依頼し届けているが、未加入世帯には、町内の施設や、町役場窓口等に広報誌を置いてるので、直接受け取っていると認識している。

企画費

**定住促進・まちづくり
推進事業**

質問

移住体験ハウスの利用実績と、利用者の中で移住に繋がった方がいたのかを伺いたい。

答弁

6年度は3組7名の利用があった。7年度も3組の利用があり、現在も1組が利用中。その他にも2組の利用申し込みがある。残念ながら移住には繋がらなかったが、壮瞥町をPRし、移住に繋がっていききたい。

ジオパーク推進事業

質問

6年度の活動内容と、7年度の

活動状況について伺いたい。

答弁

6年度の事業については、一般の会議参加の他に、ガイドの普及活動、住民と行う保全活動、ジオツーリズム関連でアドベンチャーツアーを行っている。7年度も引き続き、その事業を推進して行く。

質問

ジオパーク推進経費は、1市3町で組織され、全体経費は1,300万円くらいだが、それぞれの事業評価と課題、問題点を各自自治体で話し合われているか伺いたい。

答弁

1市3町の担当課長会議があり、他のジオパークを参考に、良い取組を導入しやってみよう、という話をしている。その上で、各自自治体で、多くの人が集まるような議論をしている。

質問

自治体の取り組んだ評価や、問

題点を組織の中で話し、解決に導いた経緯等はなかったのか。また、今後の目標について、どのような方向性で進んでいくのか伺いたい。

答弁

評価的な部分では、有珠山周辺の立ち入り規制されている所にも入れないかと言う話が以前からあり、案内する方を養成し、より多くの誘客につながるよう、話し合いをしている。



納涼盆踊り

ふるさと納税事業

【質問】

ふるさと納税返礼品の順位は、どのようになっているか

【答弁】

1番が米、2番がトウモロコシ、3番が宿泊券、4番がメロン、5番がりんご、となっている。

【質問】

返礼品のお米について、昨年から令和の米騒動があり、お米が間に合ったかどうか伺いたい。

【答弁】

昨年度のお米については、間に合った。今年も、お米についての需要が高いと見込んでおり、各事業者に在庫確保をお願いしている。

【質問】

他市町村へふるさと納税している町民数は。また、返礼品で体験型返礼品も登録可能かどうか伺いたい。

【答弁】

他市町村へのふるさと納税の現数は59名、町民税からの控除額は147万7千円で、町民税全体の1.64%に相当する。

体験型返礼品は登録可能となっており、壮瞥町も2事業者が体験型返礼品を登録している。今年はさらに1社追加登録した。今後も壮瞥町のさまざまな資源を有効活用した返礼品を増やし、壮瞥町をPRしていく。

地域公共交通対策事業

【質問】

地域交通対策事業の委託料について、年3回公共交通利用促進セミナーを委託して行っているが、町民にオープンな関心のある方へのセミナー開催と思ったが、特定の方の参加が見受けられた。実態としてどのようなセミナーが行われたのか伺いたい。

【答弁】

公共交通利用促進セミナーは、

町内3カ所で実施している。新たに人を集めるより既存の会合等でのセミナー開催の方が、広く住民にも利用者にも伝わるのではないかという趣旨で、社会福祉協議会の事業である「アップル広場」の中で開催させて頂いていた。

セミナーの概要については、本町の公共交通機関としてコミュニティタクシー・路線バスがあるが、利用したことがない、利用方法が分からない、分かりづらいという声も多く、特に高齢者で運転免許返納後の移動手段が重要となってくることから、そういう趣旨で公共交通利用促進のセミナーを開催している。

6年度はコミュニティタクシーを題材としたセミナーを開催したが、公共交通の専門家の講師をお招きし、セミナー後の意見交換や質疑応答も行った。また、コミュニティタクシーの時刻表や利用方法の動画を作成し、それを見ながら情報共有を行った。

人口減少や高齢化も進んでいる町にとって、公共交通の維持確保



奥洞爺ワイナリー竣工式

は重要であり、あらゆる形を使って公共交通活用について、情報提供していきたい。

【質問】

今回のセミナーは組織団体の会長や役員を対象にして意見を集めたように見受けられた。地域の足の確保ということで、広く住民の理解や周知、先行事例を共有するこのセミナーの役割は重要になってくると思われる。

今年度も事業継続されると思うが、今後の事業の方向性やセミナーDVDの活用方法は。

また、報告書に住民からの具体的な意見が載っていないだったので、意見の集約も必要と思うが。

【答弁】

地域公共交通利用促進セミナーは、今年度も昨年と同じ場所です。3回開催する予定で、セミナーの主要テーマは、路線バスの利用促進。講師も昨年同様、公共交通の専門家を用意している。

路線マップ・時刻表をまとめた資料を作成し、町民により分かりやすく提供し、セミナー開催する。セミナーDVDは広報で周知し、YouTubeで公開している。

地域公共交通についての考え方は、色々な企業の代表の方に参加してもらい、地域公共交通確保維持改善協議会を最低限、年2回開催している。オブザーバーとして国や道から参加してもらい、情報交換しながら意見をいただき、協議会で揉まれたものが、壮瞥町生

活交通確保維持改善計画という中で位置付けられ、町民へのアンケート調査も行っている。

アンケート調査でコミュニティタクシーの使い勝手がわからない、使えない、高齢化で免許返納後、足確保のため公共交通を残してほしい、便数が足りない等の意見が多かった。

公共交通維持のため、これからも情報提供し、共有し、改善し、交通弱者の足の確保をしていく。

【質問】

当町にあった足の確保が求められているが、公共交通対策事業は、今後どのようなのか。

【答弁】

6年度から10年度の計画となっているので、協議会も10年度まで開催し、課題・問題点の整理を行って、10年度で最終的に取りまとめる計画となっている。

【質問】

国道453号線の道路沿いに11

か所のバス停があるが、滝之町から蟠溪方面のバス停には上屋が設置されているが、上屋の管理状態が悪く、しっかり管理していく必要があると思うが、考えを伺いたい。

【答弁】

維持管理状況は、数年前まで利用者の多いバス待合所を、企画財政課が年に数回、掃除を行っていたが、現在は手が回らず、利用者から指摘があった場合の事後の対応が現状。

同様に、数年前まで、某団体の方がボランティア活動で年2回15か所のバス待合所の清掃を行っていたが、現在は行なわれていない。

役場前のバス待合所や一部の待合所について、町民有志の方がボランティアで清掃して頂いているのが現状。委託も含め、今後、検討しなければならないと考えている。

【質問】

維持管理を検討することだが、久保内より上側のバス停で、

利用者が少なく上屋の必要がない場所もあると思われるが、建物があれば清掃や管理が必要となるので、建物の必要性を含めた管理のあり方、考えを伺いたい。

【答弁】

町内には15か所のバス待合所があるが、利用が少ない待合所もあるのは事実。しかし、建物をなくすという判断は難しい所もあって、



ふれあい敬老屋食会

現在に至っている。築10年以上経過したものも多く、劣化が進んでいるものが散見され、清掃と同じ、事後で利用者からの指摘により、危険性のあるものや緊急性のあるものについて、その都度、修繕しているのが現状。

建物の劣化状態を改めて把握させて頂き、必要性も含め計画的な対策をとれるよう、今後、検討していきたい。

質問

コミュニティタクシーの6年度利用実績が減少している理由は。

答弁

利用されている方の高齢者率が高く、5年度が81%、6年度が79%。

町全体の人口減少も要因の一つではあるが、利用者が施設に入ったり、病院に入院したり、といったことが想定される。

多くの方に利用して頂けるよう情報発信していく。



壮瞥中学校 総合文化交流会

民生費

子育て応援祝金事業

質問

7年度から出産祝金が50万円に引き上げられたが、出産後に即転出となるのを防ぐため、在町年数の規定を設けるべきではないか。

答弁

今後、検討していきたい。

農林水産業費

堆肥センター運営事業

質問

堆肥センターの事業計画書が前年度と同じ内容だが、見直しされているのか。

答弁

重機の故障もあり、直近2年間には十分な生産ができなかったこと、また、原料の堆肥量、現施設での生産可能な規模を踏まえ、前年度と同様の内容になった。

質問

堆肥センター施設の老朽化が進んでいるが、今後の考えは。

答弁

補助事業活用等を検討しながら、改修方法や時期を検討している。

情報通信環境整備対策事業

質問

農業者のワークショップ参加者は。

答弁

水田センサー利用者や、ハウス団地でのセンサー利用者とワークショップを行った。

新規就農支援対策事業

質問

新規就農者の定着率は。また、町の支援には、どのようなものがあるのか。

答弁

直近の新規就農者は、5年度1名、6年度1名、就農後継者1名で、現在も就農している。雇用就農では、離職もあるが、定着率は高い状況にある。

町の支援では、就農研修期間の1年間での資金貸付と、就農支援助成金として農地取得や機械導入の支援を行っているほか、農業研修シェアハウスの利用ができる、といった支援を行っている。

有害鳥獣関係

【質問】

ヒグマの駆除費が安すぎるのではないか。

【答弁】

ヒグマの被害が増えてきており、駆除に対する負担も増えてきている。今後、見直しを検討したい。

【質問】

エゾシカによる農作物被害が減らない状況だが、今後に向けての考えは。

【答弁】

農業者に整備して頂いた電気柵等を適正に管理していただくことが重要で、メンテナンスが大事だと思っているが、今後も、どのような対策が良いのか検討していく。

教育費

保健体育総務費



壮瞥小学校 学習発表会

【質問】

アウトドア推進協議会の取組状況は。

【答弁】

アウトドアネットワークの6年度活動は、一般社団法人として活動し23事業を実施し、延べ304名の参加があった。

【質問】

将来的な目指す方向や、計画目

標は。

【答弁】

今後の活動は、6年度から総務省の地域活性化起業人制度で着任した方に、事務局的な活動と経営のサポートを行っていただいており、制度における終了期限まで事業全体についてサポートを行ってもらいたいと考えている。将来には観光振興とも連携していきたい。

給与費

【質問】

時間外勤務手当の支給状況をみると、特定の職員に負担がかかっているのではないか。適正配置の必要はないのか。

【答弁】

時間外勤務は、主に、年度末での業務や、大きな事業があるとき、また、人事異動があったときに増加する傾向がある。業務の偏りのないよう各課で対応したい。

壮瞥町議会の本会議をYouTube(ユーチューブ)でご覧になれます!!



YouTube 壮瞥町議会



で検索

視察報告

7月23日から25日まで、道内の先進事例を学ぶため、白糠町及び津別町の2か所を訪問しましたので、その詳細をご報告いたします。

白糠町視察報告

毛利 爾

白糠町における防災の取り組みについて

白糠町は、人口6,939人、3,914世帯（令和7年6月末）で、65歳以上の高齢者は3,036人、災害時要支援者台帳登録者は2,073人となっています。

農業・林業・水産業を活かし付加価値を付けて発信し、銘産を全国に届ける「ふるさと納税」は、昨年220億円の寄付を集めました。特に紫蘇焼酎「鍛高譚」は、皆さんもご存じであると思います。

防災に関しましては、

- 1 河川氾濫・土砂災害
 - 2 地震・津波対策
- が基本となっています。

1は、町内2本の二級河川（茶路川と庶路川）があり、平成28年8月

には、2週間の間に4つの台風が襲い、停電を初め茶路川が氾濫危険水位を超え、建物の一部損壊・町道11路線・林道9路線・河川護岸決壊等被害がありました。その対策として内水氾濫しないように、10年かけて樋門の整備と排水ポンプを整備しました。

2は、東日本大震災を目の当たりにし、想定外を想定内に・逃げるが勝ち・自己責任で20分以内に避難する、を前提に様々な整備を行っています。

高台の指定避難場所に備蓄コンテナを2基・避難タワー2棟（避難棟床高14mと12m）収容人数は2棟で約340人。また、緊救命としてGPS装備のボート（25名トイレ付・装備品用意）もありました。

さらに段ボールベッドの他に、町内業者が開発した合板製防災ベッドがありました。特徴は段ボールベッドよりも収納スペースが少なく、ベ

ッドの下には4つの収納空間があり便利でした。費用は段ボールベッドの約2倍ですが、耐久性も考えると当町でも採用を検討してはいいかなのでしょうか。



白糠町視察 合板製防災ベッドの組立

津別町視察報告

佐藤 忖

国営農地再編整備事業

先進地津別町を訪ねて

7月23日、バスに揺られて研修目的地釧路総合振興局管内の白糠町と

オホーツク振興局管内の津別町の先進事例に学ぶため、朝、牡蠣を焼く。十勝管内入ると高温続きの気象のためか、玉ねぎや馬鈴薯の成長かんばしくなく、わが家の菜園と同じ光景を見ながら、夕刻、釧路市内のホテルに着く。

◆津別町の紹介◆

津別町の人口は4,119人、世帯数2,165戸、面積716km²の86%が森林面積、山々からの恵みがまちのくらしを豊かに…。

子育て支援制度充実を柱に、各種施策が並ぶ。

仕事の支援制度・住まいの支援制度が競つように並ぶまちで、中でも年月をかけて先進的に取り組んできた「国営農地再編整備事業」の実施成果を学ぶために訪問、以下、津別町の取組みを報告します。

◆津別町の取組みの経緯◆

「津別地区の畑地再編整備」

国営農地再編整備事業「津別地区」は、平成27年度から着手し、2,433ヘクタールの大規模な基盤整備を行い、令和6年度に完了。

受益面積は2,433ヘクタールと広大で、その受益戸数は120戸。主要な工事内容は、区画整理2,425ヘクタールと農地造成8ヘクタールを10年間で完了。

◆農家の概要◆

令和6年の作付け動向調査によると、農家戸数112戸、耕地面積は5,307ヘクタールで、整備事業対象面積は48・8%にもなります。

主な作付け等は、小麦1,644ヘクタール、飼料作物1,051ヘクタール、てん菜・豆類各524ヘクタール、馬鈴薯526ヘクタール、玉ねぎ420ヘクタール。

乳用牛1,611頭、肉用牛5,782頭と、壮瞥町との比較では、作付け面積や牛の飼育頭数は大きな開きがあります。

◆工事取組みの背景◆

事業実施の検討開始から工事完了までの背景は、

計画時 農家戸数172戸

耕作面積一戸当31ha

着工時 農家戸数150戸

耕作面積一戸当35ha



津別町視察

完成時 農家戸数112戸、耕作面積一戸当47ha

と大きく変化し、地域課題として、

①農業従事者の減少（高齢化・後継者不足）による労働力不足、耕作放棄地の発生が懸念。

②離農跡地の継承に伴い、経営面積の増加に対応した労働力の確保。

③山あいの狭小（きょうしょう）で不整形・配水不良などのほかが多いため、農作業の効率化に支障。

④地域内農地の整備水準の不均一なため、農地流動化の促進に支障等の解決を目指して取り組む。

◆事業費の負担は◆

事業費は、全体で174億円で、国75%（130億円）、道18%（31億円）、地元負担7%（町7億円、受益者約4億円）で事業完了する。

北海道町村議会 議員研修会レポート

7月8日に札幌市内で開催された北海道町村議会議員研修会の参加についてご報告します。

『地方議会における議員の多様化に向けて、地域社会の「鏡」としての議会を考える。』

加藤 正志

西南大学教授 勢一 智子氏の講演を聞かせて頂きました。

一人人口減少社会における地方議会

の役割で重要なことは、地域の将来をどう描くか。

それぞれに向けて限られた地域資源の投資先の厳選、選択基準地域の持続可能性・こころ豊かな暮らしなど、若年世代・将来世代を含む多様な議会で議論をすべきと述べられていました。

二 地域社会の「鏡」としての地方議会の現状認識と課題について

住民ニーズや地域課題は多様化・複雑化し、地域において合意形成が困難な課題が増大することが見込まれるが、地域の多様な民意を集約し、広い見地から個々の住民の利害や立場の違いを包摂する地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要となります。

三 議会における取組の必要性
多様な人材の参画を前提とした議会運営について、

① 勤労者等の議会参画 夜間・休日等の議会開催等

② 女性や若者、育児に携わる者の議会参画

会議規則における育児・介護の取

り扱いの明確化等

議員報酬の水準の在り方を議論
住民に開かれた議会のための、デ
ジタル技術を活用した情報発信の
充実、SNSの活用、タブレット
端末によるペーパーレス化にあわ
せた情報公開の充実
住民が議会に参画する機会の充実
等、住民と政策や議会運営を考え
る場等（政策サポーター、議会モ
ニター）

四 議会の位置付け等の明確化

議会が果たすべき役割、議員の活
動の在り方等を含めて、住民との議
論も重ねながら、地域の実情に応じ
て議会の目指すべき姿を明確にし
ていく取組は数多くの地域で見られ
る。議会がその重要な役割・責任を
十分果たすよう、その重い役割や責
任を自覚することが何よりも重要で
ある。

五 地方自治法改正の意義

地方自治法の一部を改正する法律
により、普通地方公共団体にその議
事機関として、当該普通地方公共団
体の住民が選挙した議員をもって組

織される議会を置く。

当該普通地方公共団体の重要な意
思決定に関する事件を議決し、この
法律に定める検査及び調査その他の
権限を行使する。

また普通地方公共団体の議会議員
は、住民の付託を受け誠実にその職
務を行わなければならないとしてい
る。

六 時代に求められる地方議会に向 けて

多様な人材の議会への参画
議員の多様化↓過少代表の是正が
求められている。

立候補環境と議会環境の整備、議
員のモチベーション醸成議会での
多様性の確保・反映
ゼロワン議会の問題性（女性議員
の多様性が必要）

多くの人が議員になるために
多様な経験をした多様な世代が多
様に参画する議会

社会経験を活かせる議会へ＋議員
経験を活かせる社会へ
供給源である地域社会のあり方↓
社会全体の変革を（地域社会が変
わっていく必要性）等

など多岐にわたり講演をして頂き
ました。



北海道町村議会議員研修会

『人口減少社会を 生き抜くために』

長内 伸一

人口戦略会議副議長 増田 寛也氏
の講演を拝聴する機会が有り、報告
したいと思います。

私も増田先生は2014年に日本
創世会議・人口減少問題検討分科会

の報告「ストップ少子化・地方元気
戦略」通称「増田レポート」が発表
され「2040年までに全国の市町
村の半数が消滅する可能性がある」と
地方の市町村にとって衝撃として
受け止められたことから高い関心を
持つて拝聴しました。

1時間30分の講演の内容を紙面の
制約上報告に限りがありますが、増
田先生は、1972年の日本列島改
造論から2015年から発表した地
方創生1.0を経て、今年発表され
た地方創生2.0へとバージョンア
ップした内容の説明もありました
が、特に北海道としては、技術系専
門職員の不足は深刻であり、A-の
活用と市町村の行動を身軽にして、
重要な点に力を入れるため、道と市
町村の垂直補完と市町村共同の水平
連携と民間との連携・DXの活用が
求められると言い、ふるさと住民登
録制度による2拠点居住の制度化を
進め、住民票や住民税の2力所納付
の必要性を提唱しておりました。

地方の人口減と活力の減少は日増
しに深刻さを増しており一刻も早い
地方政策が望まれます。

『より良い未来につなげる』

学校づくり

壮瞥町立壮瞥中学校長 永堀 善之



さんの学びの場である「山美湖大学」の企画・運営に関すること等でしたので、乳幼児から年配の方まで多くの町民の方々と関わることでできた貴重な3年間でした。

その後、胆振教育局での勤務を経て、学校に復帰。登別・室蘭市内の中学校で管理職としての経験を積み、7年ぶりに壮瞥町で仕事をできることを本當につれしく思っています。

うれしいことの最たるものは、何事にも一生懸命に取り組む子どもたちや教職員に恵まれ、幸せを感じる場面が多いということ。そして、異動した年に校舎が新しくなるという幸運。

これまで勤務した学校の多くは、市町内でも有数の古い校舎でしたので、夏は猛烈に暑く、冬は廊下に少

し出るだけで一気に体が冷えてしまうような所ばかりでした。

実際、新校舎での生活は大変快適であり、充実した教育活動を推進するための素晴らしい環境を整えていただいたものと感じております。改めて、町民の皆様や設計・施工に関わった多くの皆様に感謝を申し上げます。

『風土』という言葉にあるとおり、我々「風の人」には外から種を運んで植え、それが花となり、実を結ぶよう努める役割があります。「土の人」である壮瞥町の皆さんに、たくさんのご協力やご支援をいただきながら、様々なところで、花を咲かせられるよう、地域や保護者と一体となった学校づくり、町の『風土』に良い影響を与える学校づくりを進めていきたいと考えております。

結びに、新校舎は完成しましたが、学校教育に完成形というものはありません。この校舎を有効に活用し、「そうべつ型小中一貫教育」を始めとした教育施策の充実を図ることで、子どもたちや壮瞥町のより良い未来につなげていきたいと考えています。町民の皆様方には、今後ともご指導・ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

編集後記

記録的な猛暑に見舞われた夏も終わり、朝夕の風に秋の気配を感じるようになりました。壮瞥町にも、少しずつ紅葉の便りが届きはじめ、季節の移ろいを肌で感じる今日この頃です。

今回の議会だよりは、決算審査特別委員会の審議内容を中心にお届けしました。限られた財源の中で、町の未来を見据えた予算執行がなされていることを改めて実感しました。

子どもたちの教育環境の整備や、地域の安全・安心を守る取り組みが着実に進められています。

新しく完成した中学校の校舎も、その成果のひとつ。小学校と渡り廊下でつながり、子どもたちの笑顔が行き交う様子が目に浮かびます。小さな町だからこそできる、あたたかな教育環境を、これからも大切に育てていきたいと思っています。

秋の深まりとともに、町の暮らしも次の季節へ。皆さまのご理解とご協力に感謝しつつ、よりよいまちづくりに向けて、歩みを進めてまいります。

(菊地敏法)

壮瞥町は、平成27年4月から30年3月までの3年間、北海道教育委員会の派遣社会教育主事として大変お世話になった、思い出のたくさん詰まった町です。

携わった仕事といえば、地域と学校との協働・連携に関すること、フ

インランド派遣事業を核とする国際交流事業に関すること、高齢者の皆

さん